

# エアータック・ニュース

2022.12.15 Vol.97

## クリーンパーティション シリーズ

クリーンパーティション  
ACP - 898AHK



業務用の薄型空気清浄機です。家庭用空気清浄機より、ウイルスや細かい塵埃の捕集・清浄化に効果的でオフィスや施設でも幅広く活躍します。

クリーンパーティション・ミニ  
ACP - 508AH



本体幅500mm、厚さ95mmの超スリムモデル。HEPAフィルター搭載で従来のクリーンパーティションの機能そのまま。空気がよどみがちな狭いスペースにも設置いただけます。

### 目次

表紙	目次、製品写真	P1	インターフェックス展示会報告	P10
巻頭語		P2	海外出張報告	P11
研究・開発情報	新製品紹介	P3	—米国インターフェックス展示会—	
設計本部・研究所情報	第46回研究発表会	P4	各部情報	公益社団法人日本空気清浄協会と
工場情報	第24回QC発表会	P4		当社の関わり
	赤城スマートファクトリー竣工	P5	随想	映画鑑賞「CODA—愛の歌—」
	草加工場紹介	P5		次世代へのメッセージ【第4回】
サービスセンター情報	新製品紹介(オールインワンCR)	P6	裏表紙	当社広告の紹介
	海外据え付け業務報告	P6		「研究発表会写真」赤城SF工場写真
海外提携会社情報	中国(SAT)、台湾(ATS)他	P7		編集後記
営業情報	第42回製品説明会	P10		

# 地政学的リスク回避と当社の取組み

代表取締役社長 平沢 真也

従来製造会社経営の基本的な考えは、様々な製品に使用される部品を共通化し、購入ロットを増やし原価を下げることで、そして在庫はジャストインタイムに示されるように必要最低限とすることが重要でした。本方針の中で、グローバル化、製造業の海外進出、そして様々な国の最も競争力の高い企業から調達する等、各国間の相互依存性が高まってきました。

本状況の中で、約3年前より米中貿易摩擦が本格的になり、2年前には新型コロナウイルス感染症により各国の生産・輸送・人の往来が制限されるようになりました。半導体をはじめとする部品調達に支障が生じ現在も継続しています。そして本年ロシアによるウクライナ侵攻によりエネルギー、原材料、食品に至るまで全世界的なインフレ傾向になっていることは皆様ご承知のことと思います。

米中対立と西側諸国によるロシア排除の流れは長期化すると予想をせざるを得ず、更なる悪化の備えが必要となっています。今、世界はグローバル最適主義から自国第一主義、すなわち自国における生産・調達を確立することに大きく舵を切りました。本年5月に国会で成立した「経済安全保障推進法」は日本の国家戦略の一つです。地政学的リスクがある中で日本が戦略的に自立することが出来、他国に対して戦略的な優位性・不可欠性を保つことによって、いかなる状況下でも他国に過度に依存することなく国民生活と経済運営、そして我が国の安全保障の実現を目指しています。

当社では戦略的自立性の観点で、最重要部品を確実に確保するために以下の4つの取組を行っています。第一に在庫の積み増しです。3年前と比較し約2倍とし、今後更に追加すべき部品を日々検討しています。第二に複社購買です。一例として当社製品の心臓部に当たる送風機が該当します。同一仕様のモーターを複数社で開発し2社もしくは3社から購入する方式に切り替えます。第三は内製化です。特に感染症対策製品の販売拡大の際には、フィルター社内生産及び外部調達では供給が不十分でした。このため、本年8月に稼働した赤城スマートファクトリー新設を決断しました。そして最後に設計見直しです。この3年間開発陣には本対応に尽力していただきました。新たに開発した新製品も部品不足で販売延期となった機種もありました。この時には部品調達が可能な旧型製品や代替部品を使用し生産することで、お客様への供給責任を果たす方針で開発を進めました。本取組みを早期に行ったことで、感染症対策製品が大幅に減少した本年も、コロナ前と比較して成長出来たといっても過言ではありません。しかし、本取組は供給持続可能性を高める一方でコスト増に繋がります。今後はこのバランスをどう取るかの見極めと調整が必要になってきます。

本年は部品調達の問題に加え、円安が急速に進みました。そして自国における生産回帰の流れも加わって国内の当社市場関連の設備投資は活発化しています。当社製品の市場優位性をさらに高めるべく研究開発を継続し成長させていく所存です。

## 新製品紹介

設計一部 大野 広行

### クリーンパーティション・ミニ 型式～ ACP-508

超薄型パーティションタイプの空気清浄機のシリーズ機種にミニタイプが加わりました。

#### 【特徴】

- ①製品幅を標準の 890mm から 500mm へ小型化しました。
- ②風量は約 8 m<sup>3</sup>/min～約 1.7 m<sup>3</sup>/min の 5 段階で調整可能です。
- ③高効率 DC ブラシレスモーターを採用した省電力型です。
- ④抗菌塗装、抗菌操作パネルを採用する事で目に見えない細菌の発生や増殖を抑制し、移動や操作時の接触による感染を抑制します (SIAA マーク取得)。



### AC モーター仕様防虫用エアーカーテン 型式～ AAC-\*\*CAC シリーズ

半導体不足による DC モーター関連の部品供給問題を改善すべく、従来機と同等仕様の AC モーター仕様防虫用エアーカーテンの開発を行いました。

#### 【特徴】

- ①独自技術のアンバランス気流 (\* 特許 第 4314374 号) により屋外からの飛来害虫侵入を防ぎます。左右の吹出しユニットより 25m/s の高速エアと 12m/s の低速エアを吹出します。
- ②吹出しユニットサイズは 500\*500 のコンパクトな設計とし、限られたスペースでも設置が出来ます。建屋開口に合わせたサイズの製作が可能です。
- ③装置の運転状態を知らせる連動用信号を建屋側設備へ受け渡しすることで出入庫の運用に合わせた連動動作を取ることが出来ます。



### 採痰ブース (検体用陰圧ブース) 型式～ ALF-903 〈受注生産品〉

結核検査を行う際に患者の痰を採取する時や感染性のある検体を取り扱う際に使用する陰圧ブースです。庫内が陰圧構造(CDC ガイドラインに準拠、差圧 -2.5 Pa 以下、換気回数 12 回 / 時以上) になるため、PCR 検査や遠隔で問診を行う際の個室として使用する事も可能です。

#### 【特徴】

- ①扉下部に給気パンチング面を設け、背面にクリーンパーティションを設置することで単一方向気流とし、装置庫内における気流形状の改善を行いました。
- ②操作部に外部運転スイッチを追加し、入室せずにクリーンパーティションの運転切替を行えるようにしました。
- ③感染予防として、抗菌塗装を採用しています。



## ● 第46回研究発表会

研究所 岡本 守

今年は10月22日(土)、赤城スマートファクトリー2階にて開催いたしました。昨年に続き、新工場にて開催出来た事は喜ばしいことです。コロナ感染も落ち着き、以前同様、全社より集まる方式に戻し、83名の参加者となりました。また、昨年より引き続き各部署からも聴講出来るようweb配信を行いました。

発表件数は新製品開発、研究テーマを合わせ10件でした。現在公開出来る题目的の概要のみ紹介します。

- ①HEPAフィルターの新JIS規格への対応
  - ・今年2月、高性能フィルターの規格が大幅に改正された(検査粒径がMPPSとなる等)。
  - ・HEPAフィルター生産工場として赤城スマートファクトリーを立ち上げた事も有り、その対応方法の検証と実績を報告。
- ②新型クリーンモニターの開発と省エネ自動制御システム
  - ・清浄度ISOクラス5を検知出来る安価クリーンモニターの開発報告。
  - ・また、クリーンモニターを利用した清浄度自動調節システムによる省エネ運転システムの報告。
- ③採痰ブースの改良
  - ・ここ数年、コロナ禍も有り、採痰(検体採取)用陰圧ブースの販売が伸びた。
  - ・今後もPCR検査用等へも販売が見込まれる為、各部署の提案、意見を取り入れ、改良を実施した。



発表風景

## ● 第24回QC発表会開催

伊勢崎工場技術部 金高 雅和

9月22日(木)に、赤城スマートファクトリー(以下赤城SF)にて第24回QC発表会を開催しました。前回に引続きコロナ禍でのweb方式での開催でしたが、赤城S/Fとしては初の社内行事でした。

5工場より予選会を通過した全35件の発表がありました。生産性向上を主とした日頃よりの活動の他、ここ数年の発表で目立つのは作業の安全性確保、ゴミ減少対策、付属品の出荷漏れ対策等の発表があり、環境問題への取組みや危機意識の高さがうかがえるようになってまいりました。また、間接部門では処理速度向上を目的とし、伝票処理の自動化を実践し大きな成果を出したとの発表がありました。同一部署において大変参考になると思います。

本発表会における優秀発表題目、発表部署及び発表者を以下に示します。

- |      |  |
|------|--|
| ・第一位 | 伊勢崎工場・資材(小林)<br>納期・在庫入力の自動化            |
| ・第二位 | 伊勢崎工場・技術(成田)<br>2万代MAC不良率低減のための品質管理見直し |
| ・第三位 | 越谷工場・技術(佐藤)<br>18型エアシャワーの配電盤の改良案       |

各工場での日々の地道な努力が大いに発揮されたQC大会でした。今後においても小さな積重ねの概念を念頭に置き更なる改善に努めていきたいと思ます。

最後に、本大会の運営にあたり各工場関係者には多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。



発表風景



## ●赤城スマートファクトリー竣工

赤城スマートファクトリー 篠原 秀之

この度、近年の需要拡大に対応及びその生産能力増強のため、赤城スマートファクトリーを群馬県桐生市に建設中でありましたが、下記の通り竣工の運びとなりました。

これもひとえにご協力を賜っております皆様のご尽力のお陰と深く感謝しております。

クリーンパーティションの受注が好調であり、HEPAフィルターの集中増産を行うため現伊勢崎工場からの移設を当初の予定から一部遅らせましたが、既に製造設備移設、在庫製品・部品の移動も完了しました。PTFE製造ラインについては、さらに十分に環境を整えた上で、来年移設予定となっております。

現状、真新しいクリーンルームの中で従業員一同一丸となって内製フィルターの増産、安定供給に向け全力を尽くしております。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

### 1. 新工場名称

赤城スマートファクトリー

### 2. 竣工日

2022年7月28日

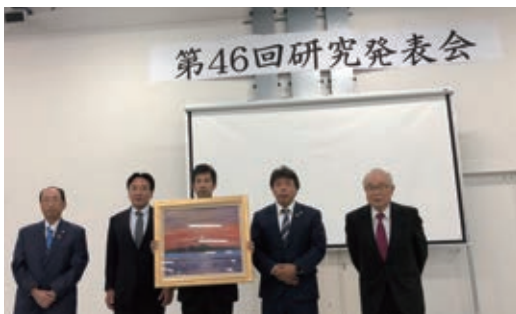
### 3. 工場住所

〒376-0124

群馬県桐生市新里町小林691番1

### 4. 電話/FAX番号

TEL：0277-32-4233 FAX：0277-32-4234



赤城スマートファクトリー篠原工場長（中央）と共に



フィルター製造工程クリーンルーム

## ●草加工場の紹介(資材部の新倉庫、新事務所)

草加工場資材部 関 正純

草加工場B棟に隣接する形で、本年2月に資材部の新倉庫が完成しました。本倉庫は、10m×19mの2階建てであり、総床面積380㎡となります。増床により、保管スペースに余裕が生まれると思っておりましたが、昨今の部品長納期化に対応するため、先行手配や臨時的な在庫の増加等を行っており、既に満杯となっております。

1階には、主にサーマルクリーンチャンバーやシートシャッター付きエアシャワー、エアーカーテン等、大型装置用の大物部品や重量部品を保管しています。また、ガラスやドアといった破損等に注意が必要な部品等も保管しております。2階には、B棟2階から軽量の消耗部品とクリーンサプライ商品の一部を移動し、保管しております。これにより、B棟2階の消耗品を保管していた一室が空いたことから、床、壁を綺麗にリフォームし、資材部の新しい事務所として使用しております。今から34年前の入社当時、私はこの事務所に配属され、再び戻ってまいりました。感慨深いものがあります。草工場にお越しの際には、是非お立ち寄りください。



新倉庫外観



新事務所

## — サービスセンター情報 —

### ● 新製品紹介

#### 「オールインワンクリーンルーム」

サービスセンター 後藤 浩

このたび「ワンストッププロジェクトチーム」にて、クリーンルームの運用に最低限必要な機材や備品などを全て備えた「オールインワンクリーンルーム」の販売を開始致しました。

清浄度：ISOクラス 7（幅：6.8m 奥行4.0m 高さ2.5m<前室含む>）一般空調型のクリーンルームにエアシャワー / パスボックス / 手洗乾燥機 / ガーメントストッカーを標準装備し、設置直後よりご使用できるようスターキット（クリーンスーツ / 手袋など）も付属しております。標準品ですのでクリーンベンチを購入するのと手間は変わらず、設置現場での組立から検査完了までは僅か1週間です。価格はこれら全て含めて980万円（工賃込み）でのご提供となります。その他オプションにて3年間の延長保証込みとなるメンテナンスパックもございます。どうぞお気軽にご相談ください。



オールインワンクリーンルーム外観

海外業務の醍醐味です。ちょうどその時でした。一人のコロナ感染者が出たのを皮切りにあっという間に8人がコロナに感染し作業が滞る状況に陥りました。しかしながら、設計部、工場、ATVからの手厚いサポートを受け、4ヶ月後には無事全ての作業を完了する事が出来ました。

ベトナムでの4ヶ月、毎朝行われる鼻綿棒のPCR検査、異国での隔離、お弁当のカエル、そしてベトナムソウルフードのバインミー。今となっては全て良い経験と思い出になっております。

最後に2023年も国内及び海外据付業務に際し関係会社と連携強化を図り、サービスセンター員一丸となって努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。



観光名所〈ホーチミン人民委員会庁舎—コロニアル建築—〉

### ● 海外据付け業務報告

サービス部 關 誉士夫

世界中を恐怖と混乱に陥れたコロナ感染が産声を上げ始めた2020年2月、RABS（クリーンブース）の搬入・据え付けでベトナムへ渡りました。まだマスクをしている人は殆どいない頃でした。帰国後すぐに世界中でコロナパンデミックが発生し渡航禁止となり、工事が延期となりました。その後2年近くの歳月を経て2022年1月末、工事が再開しました。

本装置RABSとは、お客様の生産ライン全体を覆う装置となり高い気密性を要す製品で複雑な組み立てとなります。ATJ（当社）より6名、ATV（Telong Airtech）より5名での四苦八苦しながらも前進して行く作業の中で、チームワークが芽生えて行くことを感じました。



庁舎建屋内入口に設置された  
ATV 製エアシャワー



## — 海外提携会社情報 —

本年も新型コロナウイルス感染症のために、エアーテックサミット会議は中止となり、海外提携会社の皆様と直接お会いして交流することができませんでした。そのような中、各社とも社員一丸となって業務に取り組んでおります。各社の近況をご紹介します。

企画室 山本 宏

### 中国：蘇州安泰空気技術有限公司(略称：SAT)



新陽工場  
(安全キャビネットの組立・輸送の拠点)

2022年上半期は、COVID-19の感染拡大により、通常業務や生産に影響を受けました。しかしながら、社員一丸となって困難を乗り越え、着実に前進することができました。特に COVID-19のPCR検査のため、生物医薬業界から多くの引合いがあり、安全キャビネットの売上が増加しました。昨年購入した常熟市の新陽工場(Xinyang Factory)でも、標準製品の生産能力を補うため、第1四半期の後半に安全キャビネットとクリーンベンチの組立てを開始しました。現在、葑亭工場(Fengting Factory)と新陽工場の2つの生産拠点は正常に稼働しています。

### 台湾：富泰空調科技股份有限公司(略称：ATS)

#### 【CRMシステムを導入】

これまではテレビCMや新聞などのマスメディアに広告を出せば売れるという時代でしたが、時代の変化、そして人と人との接触が制限される中、ITの導入や活用が世界中で進みました。ATSではこれまで情報共有体制が整っていなかったことから、CRM(Customer Relationship Management)システムを導入しました。本システムの導入により、以下5つの改善につなげることができました。

1. アプリを携帯に連動させることで、外出先から顧客の購買履歴やお客様からの問い合わせを管理し、よりアプローチしやすくなった。
2. 顧客情報の部署間での共有により、各部署の連携体制が整い、業務の効率化につながった。
3. 業務の進捗状況が共有可能になり、担当者が代わった際の引継ぎもスムーズになった。
4. 購買履歴から顧客の興味関心を把握でき、販売後のフォローアップが容易になった。
5. メールやLINE、LinkedInなどのSNSの活用により、商品やキャンペーンの情報等を適切なタイミングで発信することが可能になった。

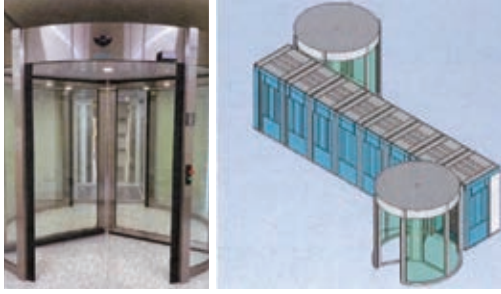
上記の通り、蓄積された情報を分析、整理することで、新たな顧客ニーズや業務改善ポイントの発見にもつなげることができ、さらに事業成長に貢献することができました。

ATSでは、顧客を発掘・管理するだけでなく、集めた顧客情報を売上につなげるために営業力を強化することを目指しています。



CRM 画面イメージ

ベトナム：THELONG AIRTECH JSC.(略称：ATV)



回転扉付 8 連エアシャワー



顕微鏡用キャビネット

2021年はCOVID-19によるロックダウンのためハノイ工場は3ヶ月、ホーチミン工場は6ヶ月の生産停止となりました。そのため、売上は目標に届きませんでした。コストダウン等の対策を進めて利益の確保に努めています。クリーン機器、実験台、工事・クリーンルーム等が好調です。

新製品としてエレベーター用除菌空気清浄機(HEPAフィルター、活性炭、プラズマ発生器搭載)、回転扉付8連エアシャワー、顕微鏡用キャビネット(除湿機能搭載)等を開発しています。

今後は、標準品の拡販に注力して売上を伸ばせるように取り組んでいきます。

インド：AIRTECH INNOVATIONS PRIVATE LIMITED.(略称：ATI)



製作中の防爆 HEPA 付きパスボックス



クロスオーバーベンチ (COB)

開発中の製品は、反転式層流(リバースラミネーアフロー(RLAF))ブース、FFU、クリーンパーティションです。

生産中の製品は、パスボックス、クリーンベンチ、クロスオーバーベンチ(COB)、防爆HEPA付きパスボックスです。

COBは主に製薬会社に納入しており、更衣室で靴を履く際に座るベンチとして使用されています。防爆HEPA付きパスボックスは、可燃性ガスを取扱う場所等で使用されています。

現在、インドを拠点とする大手製薬会社の営業に注力しています。

シンガポール：AIRTECH EQUIPMENT PTE.LTD.(ATE)



臨床検査室

今年は主に、シンガポールの臨床検査室を対象とした施設的设计と構築に注力しました。検査室に組込む機器は、日本エアテックの標準品である安全キャビネット、パスボックス、クリーンベンチを設置しています。

製品開発については、隔離用ブースを開発して複数の病院に提供しています。これは、COVID-19やその他の呼吸器系疾患が蔓延している状況において、医療従事者を保護するためです。

また、シンガポールの食品産業にも非常に注目しています。エアシャワーやエアカーテンなどのクリーンエア製品を使用する食品製造施設が増える傾向にあります。



韓国：WOOLEE AIRTECH KOREA CO.,LTD.(略称：WAT)



露光機用 TCC

2022年の主な生産製品は露光機用TCC(サーマルクリーンチャンバー)です。2023年はTCC生産を進める一方、ディスプレイの市場変化によりオーガニックLED関連装置の開発にも集中して新しい市場開拓を計画しています。

COVID-19はかなり落ち着きつつあり、エアテックグループの協力を更に強化して新事業への拡大に挑戦していきます。

ドイツ：Pharmaceutical and Electrical engineering plant construction GmbH(略称：PEA)



改良型トランスファーハッチシステム

PEAは全てのバイオセーフティレベルに対応するために、さらに進化したトランスファーハッチシステムを開発しています。

写真はUVを搭載した最新システムです。紫外線照射を行うだけで、他と比べて優位性のあるサイクル時間内で全てのバイオセーフティレベルに到達できる除染を行うことができます。

環境に優しいレベルで、短時間で安全な資材の輸送を顧客に提供します。強度の低い除染方法のため、除染終了後に時間を置くことなく、すぐに多くの製品や資材を搬送することができます。

さらに、細胞増殖抑制実験室で使用する新しい搬送用アイソレーターの提供により、施設全体での重要な作業に対して最も高いバイオセーフティ基準を保証します。

インド：Pyramid Airtech PVT.LTD(略称：PAT)



新型クリーンパーティション試作機

PATでは、HEPA フィルター、ファンフィルターユニット、及びその他の関連機器に関する取引を行っています。しかし、新型コロナ感染拡大の影響で、輸送コストが感染拡大前と比較して5倍に増加しました。そこで、ATSなどの製造会社と協力してコスト低減に努めております。

またPAT は、インドで生産できるように独自のファンフィルターユニット、クリーンブース、及びクリーンパーティションの開発を開始しました。この開発用に日本エアテックからファンとモーターを提供していただき、感謝申し上げます。今後も売上拡大に尽力してまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

## ● 第42回 製品説明会

営業1部 長谷川 祐介

本年も昨年に続き、電子・バイオの各分野二部構成、オンラインでの開催となりました。新たな取り組みとして越谷工場の紹介、設計部による基礎技術説明、スタジオでの事前収録を実施しました。配信も問題なく終了し結果的に昨年を上回る参加者数となりました。発表者の皆様、各営業所幹事、越谷工場撮影・抽選会等役割ごとにご協力いただいた皆様には感謝申し上げます。

終了後は視聴されたお客様への継続的なフォローを行い、拡販に努めております。また、来年度も製品説明会幹事を努めさせていただきますので、本年の反省点を生かし、より良い製品説明会にしてまいりますのでご期待下さい。引き続きご協力の程、宜しくお願いたします。

### 1、実施概要と結果

- 1) 開催日：2022年6月15日(水)  
オンライン開催  
参加者：1168名(電子分野 608名、バイオ分野 560名)
- 2) 場 所：ブイキューブスタジオ(全国一斉配信：LIVE中継と録画配信を併用)
- 3) 実施プログラム

電子分野(午前の部)	
NO	題目
1	開会挨拶
2	営業状況説明
3	HEP A/ULP Aフィルタの基礎技術説明
4	半導体関連の納入事例の紹介
5	電池分野の市場動向と納入事例の紹介
6	越谷工場紹介
7	気流・清浄度シミュレーションの紹介
8	新製品の紹介(新型ACP他)
9	抽選会(東北営業所)
10	閉会挨拶

バイオ分野(午後の部)	
NO	題目
1	開会挨拶
2	営業状況説明
3	クラスIIキャビネットJIS規格改正
4	感染症関連の市場動向と関連製品の紹介
5	バイオ分野の納入事例の紹介
6	越谷工場紹介
7	ACPと家庭用空気清浄機の比較
8	新製品の紹介(ヒュームフード他)
9	抽選会(東北営業所)
10	閉会挨拶

## ● インターフェックスジャパン2022出展報告

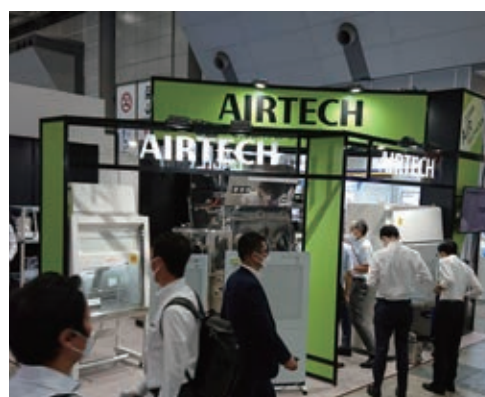
営業企画課 幸王 孝文

1. 会 期 : 2022年7月13日(水)～7月15日(金)(3日間)
2. 会 場 : 東京ビックサイト 西ホール  
滅菌・クリーン化ゾーン 小間番号21-18
3. 展 示 品
  - 1)10型安全キャビネット(新JIS型式認定機)
  - 2)アイソレーター
  - 3)クリーンパーティション(7型、8型、mini)、
  - 4)全排気型卓上安全キャビネット
  - 5)バイオクリーンベンチ
  - 6)ダクトレスヒュームフード
  - 7)クリーンサプライ製品
  - 8)分注機用陰圧ブース(ベックマンコールター社共同出展)
  - 9)オールインワンクリーンルーム(モニター展示)

新型コロナウイルス感染症への対応として展示会参加を長らく見送ってまいりましたが、様々な方々よりお力添えをいただき2019年以来3年ぶりに出展することが出来ました。本展示会は、医薬・化粧品の製造装置、充填・包装機械、物流、サステナブル容器、IoT等製造向け最新技術・製品が一堂に集合する展示会です。当社の装飾はデザイン室メンバー協力のもと、従来のカラーを一新し非常に魅力的でかつ機能的な展示スペースになりました。

会場全体の来場者は感染症の影響により、2019年と比較して約4割減となりましたが、当社出展ブースには大変多くのお客様にお立ち寄り頂き、2019年と同等以上のお引き合いをいただく事が出来ました。

今後とも、お客様に興味を持っていただける展示会になるように推進してまいります。



展示会風景

## ● 海外出張報告

### — 米国インターフェックス展示会 —

東日本営業本部 吉田 光宏

2022年5月23日から5月25日まで米国ニューヨークで開催された展示会、インターフェックス ニューヨーク 2022(バイオ、製薬関連の展示会)に、設計部増淵君と私で訪問いたしました。コロナ禍での開催でしたが、出展社数は350社と盛況で、日本のインターフェックスよりもクリーンルームに関連する製品の展示が多くありました。中でも目を引いたものは、モジュール化され現場工数を大幅に削減できるというクリーンルーム、除染装置やグローブブリークテスターが組み込まれたオール樹脂製のグローブボックス、消えずに漂うミストを発生する気流可視化装置、HEPA内蔵でクリーンエアが顔面より吹き出すヘルメットなどで、それぞれに高い技術力を感じました。ここで得た情報は今後の製品開発及び営業展開に活かしていく予定です。

ニューヨークは初めて訪れたのですが、古い街並みの中に近代的な超高層ビルが建ち並び、まさに映画で見た景観そのもので、力強い雰囲気終始圧倒されました。そして、何をかうにも驚くほど高い米国のひどいインフレを体感しました。

今回、コロナ禍での海外出張でしたので、行く前には少々戸惑いもありましたが、結果として様々な面で大きな刺激を受け帰ってきました。世界の新しい技術や異なる文化に直接触れる事は、会社や人の成長にとっても重要であると、改めて感じています。



展示会場風景



グラウンド・ゼロと新世界貿易センタービル

## — 各部情報 —

### ● 公益社団法人日本空気清浄協会と当社の関わり

品質管理本部 川又 亨

日本空気清浄協会(以後、JACAと称す)は、創業が1963年と古く、広く日本の空気清浄技術に関する業務を行ってきた。主な内容は規格・基準(JIS規格の原案やJACA基準等)の作成、講演会・セミナーの開催、機関紙「空気清浄」の発行、研究大会の開催等である。

会員は、建築会社、設備会社、エアフィルター製造会社、クリーン機器製造会社、測定器製造販売会社、メンテナンス会社等民間企業と、大学や研究所の先生方等である。クリーンルーム、バイオクリーンルームやバイオハザード設備、空気清浄測定等に関連する会社は、ほぼ全社が加盟しているといつてよい(2022年5月現在103社)。クリーンルーム・バイオクリーンルームやクリーン機器、エアフィルター技術、清浄度測定技術等により、日本の電子工業や医薬品・食品工業等の清浄化、病院内の無菌化や感染防止、病原菌や遺伝子操作研究、原子力施設の排気処理等に利用され、日本の産業発展に大いに貢献してきた。

当社はいくつかの協会、学会に参加しているが、その中でも主となるのはJACAである。その一つの業務として、JACAが開催する研究大会で論文発表を行ってきた。JIS規格は、JACAが規格の原案を作成し、日本規格協会から承認発行されるが、当社は、クリーンベンチ、安全キャビネット、パーティクルカウンター、無塵衣等のいくつかの規格作成に参加してきた。

研究大会は、研究論文を発表する場であるが、当社は1982年開催の第1回から参加し、その後も継続して論文発表を行ってきた。また、併設の展示会にも参加し、研究大会を支援したてきた。ISCCは、各国持ち回りで隔年開催の国際シンポジウムであるが、当社では論文発表を含め積極的に参加してきている。1978年のロンドン大会、1980年のワシントン大会をはじめ、毎回参加してきた。ISCCは今まで日本で3回開催(1982年東京、1994年横浜、2010年東京)されたが、それぞれ平沢会長等、学会長等主なメンバーとして運営を行ってきた。

平沢会長は、1992年から約10年以上にわたり副会長を歴任し、総務・財務委員長として、長年赤字だった協会の黒字化に貢献した。設計部員や研究所員は、その他技術委員会(主に研究大会を主催)、出版委員会(空気清浄関連の書籍を出版)、クリーンテクノロジー研究会(専門の方々に講師に招き講演会を実施)等において座長や委員として、活動を支えてきている。当社は空気清浄技術によりJACAの発展を支えるとともに、社会に貢献し成長していきたい。



## ●映画鑑賞「Coda コーダ あいのうた」

設計本部 渡辺 萌

「家族との愛」はもちろんですが、恋人との愛、恩師との愛、友人・仲間との愛といった、さまざまな「愛」の形が描かれた作品でした。

中でも主人公ルビーが抱える様々な悩みや感情には何度も心を打たれました。自分以外の家族全員が聾啞であるということが、世間ではマイノリティであるのに対し、家族の中では健常者の自分がマイノリティで除け者だという感覚。自分が家族を支えないといけないと思う気持ちと自分の人生を捨てたくない気持ちとの葛藤。家族のことが大好きなのに、聾啞と健常者では世界が違うし分かり合えない部分もあるが故の孤独感。

大好きなのに分かり合えない不便さと怖さ、疎外感。ルビーが日常の中で抱く感情は健常者の家族、友人に囲まれて育ち、健常者として日常を送る私には想像を絶するものでした。

聴こえないことのハンデが描かれていましたが、それほど悲劇的な雰囲気でないところも魅力です。全てはとても明るくユーモラスで、時々奔放なロッシ一家だからだなと思います。

特に好きなシーンはコンサートでルビーの歌声を家族が感じ取るシーンです。

歌っている我が子ではなく、他の観客の表情から娘の歌声の素晴らしさを感じ取る。序盤から、ルビーの歌声の素晴らしさを家族はどのようにして知るのでろうと気になっていましたが、なるほど！と鳥肌が立ちました。

聴こえないからこそ感じ取る。ロッシ一家の絆が一層深まった素敵な瞬間でした。

それと曲がフッと無音になった時、観ている私達も耳が聴こえない世界を少しだけ体験できたような気がします。

自分はわかり合っているつもりでも相手もそうとは限らない。この映画を観て改めて考えさせられたことです。これは障害の有無関係なく、人間関係全般に言えることだと思います。最終的にわかり合えることが理想ですが、わかろうとする気持ちや行動が大切であり、人として成長することにつながると感じました。

いつか私自身に家族が出来たら、またこの映画を観てみようと思います。今とは違う立場で観たときどんな感情を抱くのか今から楽しみです。そんな映画と出会えて嬉しく思います。

### 【CODA—あいのうた—作品情報】

監督：シアン・ヘダー

原作：エール

主演：エミリア・ジョーンズ、トロイ・コッツァー、マリー・マトリン

主題：家族の中でたった一人『聴者』である少女・ルビーは、「歌うこと」を夢みた。そして、彼女が振り絞った一歩踏み出す勇気が、愉快で厄介な家族も、抱えた問題もすべてを力に変えていく。

受賞：第94回アカデミー賞作品賞・助演男優賞・脚色賞受賞

## ●次世代へのメッセージ【第4回】

編集部

### 【メッセージ】

「技術の進歩のためには、失敗しても良い。少しでも日々前進せよ。」

### 【解説】

当社はメーカーである。新製品開発が生命線である。研究・実験は製品開発のヒントとなる。送風機とHEPAフィルターの研究・開発は永久の課題である。

送風機のモーターは、ACからDCに、羽は多翼型からターボ型へ変化した。回転制御と省電力低騒音化が可能となった。HEPAフィルターはセパレーター型からミニプリーツ型へ変化した。低圧損化と装置の薄型化を可能とした。

基礎研究が不可欠である。そのためには、結果を考えず、遠まわりをしても良い。そして自ら実験を行う。理論、頭の良さではない。実験、実験、実験である。

### 【教訓】

技術の進歩には、失敗はつきものである。まずは、実行することである。

## ● 当社広告の紹介

企画室 金子 剛士

新型コロナ感染症対策製品として、様々な新製品が開発され、販売されてまいりました。

これまで病院主体でご使用いただいておりますが、第7波の到来と共に、その範囲が介護施設、学校・保育園及び一般のオフィス等へ拡大しております。

今後、クリーンパーティションのシリーズ化を含め、各種分野への販売を強化してまいります。以下にその一部をご紹介します。

1. 日本経済新聞 2月9日、3月24日、6月27日
2. 日経産業新聞 2月7日、3月28日、6月28日、7月13日、8月30日
3. 日刊工業新聞 3月24日

**AIRTECH** あえる喜び、あふれる笑顔。

厚生労働省による  
補助金対象製品  
（特別適合品）

全国老人ホーム・介護施設にて  
広くご使用いただいております！

高性能  
HEPAフィルター使用!!  
花粉もウイルスも  
まもめてキャッチ!

99.99% 集塵効率

グリーン面会ブース  
あえる一むで、また会えた!

日本エアーテック株式会社

日本経済新聞 (3月24日)

**AIRTECH** オフィスを、クリーンな空間に。

95mm 高さの  
高性能  
HEPA  
フィルター

集塵効率  
99%  
.99以上

全国医療機関への  
納入実績多数!!

クリーンパーティションの  
圧倒的清浄力

日本エアーテック株式会社

日刊工業新聞 (3月24日)

日経産業新聞 広告 2022年6月 4011-1030

脱  
炭素社会へ。

SAVE ENERGY ECO FRIENDLY

AIRTECH Clean Air Innovation

〒110-8686 東京都台東区入船1-14-5  
東京支店 東京都千代田区千代田1-9-1  
大阪支店 大阪府大阪市東淀川区東中津1-1-1  
福岡支店 福岡県福岡市東区東区1-1-1

日経産業新聞 (6月28日)

**AIRTECH**  
Clean Air innovation

2021年度 改訂版JIS規格適合  
JIS X 8090 2021

国内唯一  
JACA型式認定機種

BHC-1310 IIA2

2022年7月  
13,14,15  
（月）（火）（水）

インターフェックスジャパン

日経産業新聞 (7月13日)



第 46 回 研究発表会



赤城スマートファクトリー外観写真

## ●編集後記

編集部

歴史は有史以来今に繋がっております。世界はいつでも不安定です。人間は何故戦うのでしょうか。ロシア・ウクライナ戦争は終結の見通しがつきません。早期に平和が戻って来ることを心より願っております。

当社は、来年3月に創立50周年を迎えます。皆様のお陰さまで継続、成長することができました。今までお世話になった方々に感謝申し上げます。

世界の歴史は、これまで少数の天才によって創られてきました。私どもは凡人です。確固たる個人を作りあげ、人と人との関係を築き上げていくことに努力していかねばなりません。そのためには、日々の反省、他人を許す寛容さを身に付けておく必要があります。優秀な教養人にはなれませんが、それに近づくことはできます。

これからが大事です。一日一日、一時一時を大事に過ごしていく所存です。

## エアータックニュース 第97号

発行日：2022年12月15日

編集：管理本部

発行者：平沢真也

発行所：日本エアータック株式会社

東京都台東区入谷1-14-9

TEL 03-3872-6611 (代表)